

2022-2023 年度 国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ
国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ(カナダ)

例会日：毎月第2・第4水曜日

場所：各務原市産業文化センター2階

住所：各務原市那加桜町2-186

TEL (058)382-4649 FAX (058)382-4719

会長：左高 洋 幹事：金武 峰之

副会長：小島 博彦 会報：松原 竜二

本日のプログラム 1)2023年4月11日

春の防犯パトロール活動

場所:市民会館 第2駐車場

次回例会の予告 2)2023年4月26日

職場例会

場所:(株)エフ・アイ・ティ

出席委員会

会員総数 30名(出席免除3名)
(2022.7.1 現在)

前回 3月22日

補正後出席率 74.07%

前々回 3月8日

補正後出席率 55.56%

～ 外部卓話 (オープン例会) (各務原市副市長 小鍋 泰弘 様) ～

司会進行

管理運営 横山 浩之 委員長

会長挨拶

左高 洋 会長

皆さん、こんばんは。先日、東海北陸道グループの第3回会長幹事会に参加して来ました。地区大会、IMも終わり一年お疲れ様でした、という意味合いで懇親会がありましたが、各務原RCは5月15日に開催します東海北陸道グループ親睦チャリティーゴルフのホストとなっております。参加されます方、参加されない方、皆さんでご協力の程宜しくお願い致します。また各務原RCは、前回グループ優勝をしましたので、4月10日に開催されますガバナー杯にクラブから4名参加します。是非良い成績を収めて頂き、各務原RCの名前を広めて頂けたらと思います。

お客様のご紹介

- ・各務原市副市長 小鍋 泰弘 様
- ・オブザーバー参加 左高 小百合 様



IMAGINE
ROTARY

第2777例会 No.0715

イマジン ロータリー

令和5年3月22日(水)



3分間スピーチ

片岡 紀生 君

皆さん、こんばんは。本日は小鍋副市長にお目にかかれて大変光栄に思います。以前小鍋副市長の奥様とお会いする機会が御座いまして、大変綺麗な方だったと記憶しております。その節



は色々有難う御座いました。

私は以前、各務原かかみのロータリークラブに在籍しておりました。そして入会して8年目の頃に、副幹事を務めさせて頂きました。ちょうど各務原RCでは、藤井先生が副幹事をしており大変勉強になりました。同年、幹事会旅行で天橋立へ行った際、宴会始まりに藤井先生が見えましたので、どうやってここまで来たのかと尋ねたところ電車で来た聞き、私なら絶対欠席するであろうと思っていた為、大変驚きました。これが25年目、筋金入りのロータリアンだと感心したのを覚えています。その後幹事、会長、ガバナー補佐を経験させて頂きました。ガバナー補佐になると地区の委員会に参加する事が出来、在籍期間も規定で8年となっています。私は、ガバナー補佐が終わった後この地区の委員会に所属したく、職業奉仕委員会を願いましたが空きが無く、3年待った後社会奉仕委員会に8年在席させて頂きました。その間8名のガバナーが代わるため、ロータリーの方針や流れにより詳しくなっていきます。私は未だ各務原RCへ来て日も浅いですが、是非地区の委員会へ入って頂き、ゆくゆくはガバナーを目指して頂きたく思います。有志の方、是非元気を出して地区へ出向して下さい。

委員会報告 管理運営委員会 横山 浩之 委員長

皆出席報告 可児 昌則 君 (34年)

おめでとうございます。



ニコBOX報告 R財団委員会 竹田 克茂 委員長

・左高 洋 会長 小鍋副市長、今日は宜しくお願ひ致します。

・小島 博彦 副会長 小鍋副市長、本日は有難う御座います。

・横山 隆一郎 君 小鍋副市長、長い間各務原市にご貢献頂きまして誠に有難う御座いました。国へ帰られましても各務原市の事宜しくお願ひします。

・藤井 孝一 君 小鍋 泰弘副市長、宜しくお願ひします。侍 Japan、WBCで優勝しました。おめでとうございます。見事な活躍で感動しました。

・平井 正晴 君 副市長 小鍋 泰弘 様、本日は宜しくお願ひします。

・山田 昭仁 君 小鍋副市長、8年間有難う御座いました。

・小林 幹男 君 小鍋副市長、本日の卓話宜しくお願ひします。各務原市ではお別れになりますが、今後の活躍を期待しています。本当にお疲れ様でした。

・大野 広 君 小鍋副市長、ようこそ各務原RCへ。本日の卓話、宜しくお願ひ致します。

・横山 浩之 君 小鍋副市長、本日宜しくお願ひします。

・可児 昌則 君 小鍋副市長、今日は宜しくお願ひします。WBC優勝おめでとう御座います。

・片岡 紀生 君 小鍋副市長、本日卓話有難う御座います。宜しくお願ひ致します。

・後藤 健介 君 小鍋副市長、本日は宜しくお願ひします。

・竹田 克茂 君 小鍋副市長、有難う御座いました。



各務原市副市長 小鍋 泰弘 様



この3月末を持ちまして総務省に帰る事になりました。皆様方には大変お世話になりました。今後は、一市民として浅野市政を支えて行けたらと思っております。

本日は、市の2大プロジェクトと致しまして「特別支援学校」と「新総合体育館・総合運動防災公園」建設事業についてお話しさせていただきますが、その前に全国の人口について簡単にお話しさせていただきます。昨年（令和4年度）は出生数が80万人を切りました、という新聞記事を多く目にしました。これは国の予想よりも11年早く80万を切ったという事で、近い将来人口が半分以下になることがほぼ確定したと言えます。どういうことかと言いますと、80万人の方が仮に80歳まで生きた場合人口は6,400万人になります。今の人口が1億2,000万人に対し、6,400万人という事は今後頑張っても今の人口が半分以下になる事を確定させる数字です。一方マスコミでは、地方の課題は人口減少だと言われていきます。これは間違いのない事実ですが、終戦当時の日本の人口は7,000万人でした。当時戦争抜きにしても諸外国と渡りあっていた日本にどれだけの人口がいたかという、今のちょうど半分の人口でした。そのため先ほどの80万人の方が80歳迄生きた場合の6,400万人でも、まだまだやれるのではないかという識者の方が沢山います。AIやDX等今の技術を駆使すればむしろ食糧問題、環境問題に関しては、かえって豊かさを得られるのではないかと、言われています。各務原市の場合、終戦を迎えた時の人口は47,000人でした。現在の人口15万人に対し約3倍増えています。日本全体で2倍弱の増加に対し、各務原市では3倍強増えています。これは国全体の人口の増え方よりも、各務原市の人口の増え方の方が多く増えている事が言えます。また人口が下がる速度、人数についても2060年（令和42年）時点で社人研（国立社会保障・人口問題研究所）が10万人に留まると定めています。人口が減少するなら新しい施設は

不要だと言われるかもしれませんが、40年後もまだ10万人の人口がおり、その人たちに対して今いる私達が後世何かしらの施設であり価値観を残してあげるべきであり、今がその時期ではないかと思えます。市としても先程の社人研推計の数字を10万人から12万人に改めたいと計画中です。

「特別支援学校」「新総合体育館・総合運動防災公園」建設について何故今なのか。浅野市長が当初から公約に掲げていました公共施設100%が、新庁舎建設でほぼ100%になります。新庁舎は今年11月に全面オープン予定で、借金は一切しておりません。現役世代の負担で、後世に負担を残さない様に建設させて頂きました。これは浅野市長の大きな成果だと思っております。また今年度（令和4年度）から教育委員会に「学校施設課」という新しい組織を作りました。これは市内25校ある学校の改築建て替えの大プロジェクトをやっていく組織です。場合によっては統廃合が出てくる小中学校もあるかもしれませんが基本的に25校全て建て替えるにしても、事業としては30年から50年の長期スパンになります。学校大改築が始まる大きな期間の前段階に、各務原市の財政体力なら出来ますので、何とか市長が昔から考案していました令和7年開校の特別支援学校、令和10年以降開設予定の新総合体育館建設を着手したい、というのが各務原市の考えであります。

また現在の総合体育館については課題が多く、駐車場が足りない、観覧席が少ない、一部の競技が規格に適していないためプレーする事が出来ない等の状況にあります。中には大きな体育館は必要なのか、という意見がありますが、今の体育館は各務原市の規模からすると身の丈以下の体育館になっているのも現状です。メインアリーナにおいては配管の塗装剥離、外構タイルのひび割れ等老朽化も激しくなっております。

現総合体育館が抱える問題

① 施設の老朽化

- ・ 現総合体育館は整備から39年を迎えようとしており、施設の老朽化が進んでいます。



■メインアリーナ：配管の塗装剥離



■外構：タイルのひびわれ・浮き

また市の人口に対し他の市町の体育館よりも規模が小さく、バスケットボール等正式なコートが取れないなど課題は尽きません。そのためしっかりとした施設をこのタイミングで作っておく必要がある、というのが我々の考えであります。

現総合体育館が抱える問題

2 施設機能・施設規模の不足

- ・メインアリーナや観覧席等に、**エアコンが無い状態**です。
- ・観覧席や駐車場が少なく、**大会時に不足が生じています**。
(※既成市街地の中にあるため敷地の拡大は困難)
- ・近年整備された近隣自治体の体育館と比較すると、各務原市の**人口規模に対して十分ではないもの**となっています。

体育館	市の人口	体育館の延床面積	敷地の面積	オープン
各務原市総合体育館	約14.6万人	約5,800㎡	約16,000㎡	昭和58年度
江南市スポーツセンター	約10.0万人	約8,300㎡	約31,000㎡	平成30年度
犬山市体育館	約7.3万人	約6,500㎡	約36,000㎡	平成28年度

また今回、市の中央部分に新総合体育館と併設して総合運動防災公園を設置したいと思います。市の中心地に体育館、防災公園を作るという事は、正に安心安全な施設を作る事で、これは極めて大切なことだと思っております。現時点では広く駐車場をとっており、災害時には自衛隊、消防援助隊、警察、DWAT（ディーワット）を呼ぶなどして災害時に備えます。また防災備蓄倉庫も兼ね備える予定です。

整備計画

- ・スポーツ広場公園との連携、利用者の動線を考慮して、新総合体育館・総合運動防災公園の配置を検討しました。



※上図は、あくまでも整備の方向性を示すものであり、必ずこのように整備するということではありません。

総合運動防災公園の整備計画

・駐車場 P



災害時の活用に関する考え方(施設の位置付け)

- ・近年、豪雨災害や地震災害が日本各地で発生しています。
- ・大きな被害が想定される南海トラフ沖地震が発生した場合、本市では震度6弱の揺れが発生し、避難者は約14,500人にも上ると想定されており、より一層の防災機能の拡充が必要となっています。
- ・大規模災害の発生を想定し、新総合体育館を含む総合運動防災公園を「**安全安心の拠点**」に位置づけます。

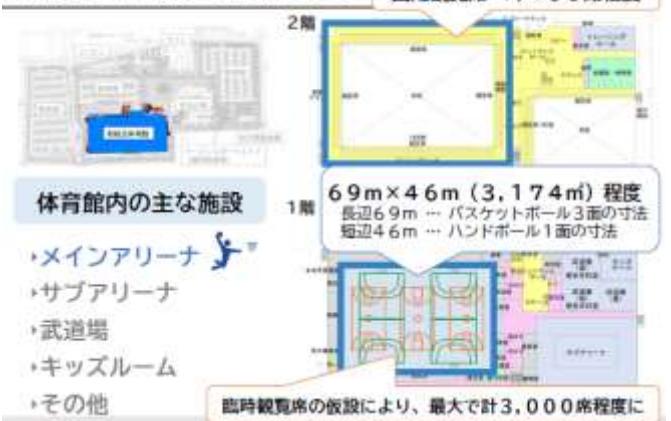


洪水ハザードマップ



土砂災害ハザードマップ

新総合体育館の整備計画



メインアリーナの大きさは、3,174㎡で、津市にありますサオリーナとほぼ同じ大きさになります。バスケットボールコート3面がしっかりと確保できる大きさになります。

防災公園においては、広い駐車場を十二分に使いたいと考えております。ここに、先ほどお話ししました広域の援助体制を作ることで、一大拠点になるであろうと考えておりますが基本、雨風で避難する場所は地元の小学校の体育館を第一としております。しかし場合によって、非常に激しい雨が降り木曾川が氾濫する兆しがみられる場合、その周辺にお住まいの方は地元の体育館へ避難するのではなく、この総合体育館へ避難して頂くため、臨時的な避難施設も有すると考えております。電気、ガスも一カ所に集め連携を図りながら市内の復旧復興に努めて頂く体制を考えております。その他マンホールトイレ、かまどベンチなども完備したいと考えております。

又、鶴沼朝日町に出来ました防災備蓄倉庫も、市民の安心安全の為にもう一つ、改めてここにも増築する予定です。

「安全安心の拠点」とするための基本方針

方針2 避難場所として活用

- ・ 局地的な集中豪雨等により河川氾濫が発生し、避難場所となる公共施設が使用できない場合、臨時的避難場所として活用します。
- ・ 避難にあたっては、駐車場での車中泊避難も想定しています。



マンホールトイレ かまどベンチ・パーゴラ 照明灯 (ソーラーパネル付)

「安全安心の拠点」とするための基本方針

方針3 物資拠点として活用

- ・ 鶴沼朝日町の防災備蓄倉庫を補完する災害時の物資拠点として活用します。
- ・ 市内各避難所をカバーするとともに、国や県など外部からの支援物資等の受け入れも行います。



防災備蓄倉庫外観および内観(鶴沼朝日町)

想定される概算事業費・事業スケジュール

- ・ 概算事業費(従手法の場合)

公園 約35億円	+	体育館 約84億円	+	防災倉庫 約1億円	=	合計 約120億円
-------------	---	--------------	---	--------------	---	--------------

※体育館建設に民間活力を導入する場合の財政負担軽減効果は7%~10%程度と試算される(内閣府引きによる概算)

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
従来	計画	建築設計	公園設計	建築工事	公園工事	公園資料作成等		全体供用	
民間活力導入	計画	民間活力導入可能性調査・公費資料要求水準作成等	建築設計	建築工事	公園設計	公園工事		全体供用	

体育館について大きなポイントは、国の社人研が2060年各務原市には10万人の人口が残ることを試算しています。市の中心地に防災拠点があるという事は、この10万人の市民にとって安心安全な役割を果たすのではないかと考えます。これだけの基盤整備がしっかりとされていて、モータリゼーション化された世界の中に於いて、市の中心地にスポーツ、健康づくり、生き甲斐づくり、併せて防災等の拠点を造るとい事は非常に大事な事だと思います。その上で30年から50年のプロジェクトである学校が其々改築されていき、場合によっては体育館も改築され、市の中

心地にこのような防災拠点、体育健康づくり、スポーツの拠点を置き、そのサテライトとして学校の体育館を使うような仕組みが今後順次できていくのではないかと思います。では今の体育館はどうするのか、というお声がありますが、施設寿命までの期間に無理してエアコン導入など出資することを考えると、新総合体育館・防災公園の方が効率的だと考えます。直ぐに無くすのではなく耐用年数まで使用し、その後解体など視野に入れ計画しております。根拠としまして、先日マイナンバーカード導入を機に各地で申請の会場をご用意しましたが、歩いて来られる方はほとんどなく、結局どんなに近い場所でも車でお越しになる方がほとんどでした。モータリゼーション化され、車が乗れる便利な各務原であればほとんど車に乗って頂き、駐車場の広い場所にお越し頂くのも一つの大きな考え方だと思います。むしろ歩いていける距離に公民館や体育館を作る方が、財政的にコストがかかり非効率な世界に入っていくと思われます。そこを見極めていく事が今後の我々の仕事なのかなと思います。

また、デマンドタクシーの様なものを充実させ高齢者の方が運転免許を返納された後、家族の方やそうでない方の足を確保する事も、大きなやり方なのではないかと考えております。今まさに新総合体育館・総合運動防災公園建設に着手しはじめ、今この期間に作り、そして出来る限り今の世代の方々に負担して頂き、学校の改築もセットで後世の方に残したいと考えております。

次に市長が市議の時から構想され、また保護者の皆様からのお声が多かった特別支援学校の建設についてお話しさせていただきます。残念ながら現在各務原市にあります特別支援学校は、知的障がいのある高等部の生徒のみを対象とした学校である為、小中学生の児童及び知的障がい以外の障がいのある高等部の生徒は市外(羽島市、関市)の特別支援学校へ1時間程かけて通学している状況です。このため市としては小・中・高一貫であり、知的障がいに加え肢体不自由や病弱、すべての児童を対象とした新しい特別支援学校を整備する事にしました。これは全国でも例がない事で政令指定都市の川崎市と神戸市にしかありません。市と致しましては、現在の各務原市の財政体力でしたら問題ないと考えております。

(1) 新各務原特別支援学校の整備の概要

開校年度		令和7年度
建設場所		鷺沼羽場町2丁目地内（鷺沼市民サービスセンター北）
対象とする障がい種別		知的障がい、肢体不自由、視覚
設置学部（学級数）		小学部・中学部・高等部（通学学級、重複学級）
学級数	小学部	通学13学級、重複5学級 （6学年児童数計 93名まで）
	中学部	通学7学級、重複3学級 （3学年生徒数計 51名まで）
	高等部	通学13学級、重複5学級 （3学年生徒数計 119名まで）
		【合計】 通学33学級、重複13学級 （最大在籍者数）263名

本来県にお願いをする次第ではありますが、今回は市独自の事業の為ハイスペックな内容となっています。温水プール、図書館、地域の皆さんも使用できるスペース（インクルーシブ遊具や休憩所）を設置する予定です。

南側から見た外観イメージ



【3-4】地域とつながり、交流する地域開放エリア・遊具広場・体育館

1階講堂（体育館）



1階ふれあいホール（図書コーナー）



一部の方で、インクルーシブ教育の意味を履き違えている方がみえます。今の小中学校で障がい者の方を受け入れる体制は整っておりません。重度のお子様をかかえてみえる保護者の皆様にとって、専門の知識、専門の施設、専門の組織のある環境で自分の子供を見守

り教育して頂きたい、という方は非常に多いです。また保護者の方の多くは、常に自身が亡くなった後の事をとても心配されています。そのためにも今、市では2大プロジェクトとして防災施設、特別支援学校の建設を其々進めて参りたいと考えております。引き続きご支援の程よろしくお願い致します。

ご挨拶

各務原市長 浅野 健司 様



皆さん、改めまして
こんばんは。本日はいつも私を支えて頂いております小鍋副市長に講話をお願いしました。この年度末で総務省に戻られるという事で、是非皆様にもお声を届けたく本日開催させて頂きました。とても分かり易く説明して頂き、お願いをして本当に良かったなと思えました。改めて8年間支えて頂きまして、有難う御座いました。実は総務省に延長願いを申し出たところ、総務省に戻ってからの部署は未だ決まっていないとの事ですが、これ以上延長すると帰ってからのポストがないよ、とのお話しでした。家庭もあり、人物的にも優秀な方です。是非今後は国から各務原市を見て頂きたく、今回は総務省にお戻りいただく状況になりました。また、本日は加入候補者の左高さんと一緒に入室させて頂きました。今後皆さんと一緒にロータリー活動をしていけたらいいなと、思っております。その際は是非皆さんでロータリークラブの魅力を教えて頂けたらと思います。どうぞ宜しくお願い致します。本日は小鍋副市長、どうも有難う御座いました。益々のご活躍を期待しております。



お礼の言葉

左高 洋 会長

本日お忙しい中有難う御座いました。先程もお話にありました様にロータリーの活動が街の発展、人口の増加に繋がればと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。



外部卓話講師 小鍋 泰弘 様 プロフィール



小鍋 泰弘 (おなべ やすひろ)

生年月日：昭和49年8月11日

就任年月日：平成31年4月1日(2期)

経歴・担当事務：平成9年自治省（現総務省）に入省。以降、財政や地域振興、消防などの業務を担当。国や県との対外的な調整を行う。

市長公室（広報課、防災対策課）、企画総務部（企画政策課、総務課、財政課、情報推進課、管財課）、市民生活部、産業活力部（産業政策室、商工振興課、観光交流課）および

消防本部に関する事務などを担当。

（各務原市公式ウェブサイトより抜粋）